



はぐくみ



学校だより
令和5年1月10日 第9号
那覇市立識名小学校
校長 工藤 直也

本年もよろしくお祈りします!



お花は学校ボランティアの小黑美智子さんの作品です

令和5年、2023年がスタートしました。同時に2学期後半開始でもあります。1月5日の2学期後半開始朝会では、子どもたちに次の2つのことを話しました。

①今年めあてを立てましょう

1年のスタートに「めあて」を立て、その「めあて」達成に向けていろいろと考えたり、行動したりすることで成長していくということを伝えました。「めあて」を立てることは、植物の種まきと似ていて、植物は、種まきをすることで成長して花を咲かせたり、実をつけたりします。みなさんが、「めあて」をたてることは自分が成長するという「チャンス」の種をまくことなのですと話をしました。

②学年のまとめをしっかりとしましょう

2学期後半は、今年度のまとめの大事な3ヶ月でもあります。今の学年から次の学年へ進級するために、今の学年で学んだことを振り返ったり、まとめたりして、次の学年に自信をもって進んで下さいと伝えました。

令和5年のはじまりと令和4年度のおわりに向かう大切な時期となります。学校においても子どもたちにもその意識をもって学校生活を送るよう指導して参ります。ご家庭においても声かけをお願いします。

新春書き初めの様子



新年の決意を新たに、学習や生活に意欲を持たせることなどをねらいとして、各学年で書き初めを行いました。1、2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で行いました。



豆腐づくりにチャレンジ

12月6日～8日の3日間、繁多川自治会、繁多川公民館の協力の下、3年生が豆腐づくりにチャレンジしました。この取組は、平成20年に繁多川自治会と繁多川公民館の講座から生まれた「あたいぐあープロジェクト」としてスタートしました。識名小学校3年生を対象に総合的な学習の一環として、学校と地域、家庭が力を合わせて地域の文化・食の「生きた学習」として定着しています。今では、近隣の小学校からも依頼があるなど取組に広がりを見せています。



大豆をミキサーでつぶす様子



大豆を石うすでもひきました



ぎゅーっと絞っているところ



できあがって食べるころ



石うすでひいた大豆でつくった豆腐のできあがり

豆腐づくりを終えた子どもたちからは「どのグループも同じ材料とつくり方でつくっているのにそれぞれ味が違うのが不思議」「石うすでひいた大豆でつくった豆腐はとってもフワフワしてる」などの感想がありました。

講師の先生からは、豆腐屋さんがいつも同じ味の豆腐をつくるってすごいことなんだよというお話もありました。

卯年 識名小のうさぎたちです



私たちの年だピョン!

左上：毛が長くて体が大きく見えるゆきちゃん
右上：パンダにそっくり、臆病者のマロちゃん
左下：暴れん坊、食いしん坊のリムくん